

哲学とは・・・ 本質洞察(本質観取)に基づく 原理の提示

- 熊本大学学術コンサルティング (SCSK)
 - 企業研修 (肥後銀行、ランチェスター経営ジム、その他)
 - 苫野一徳オンラインゼミ (教師、官僚、政治家、経営者、保護者、小中高大学生)
- etc.

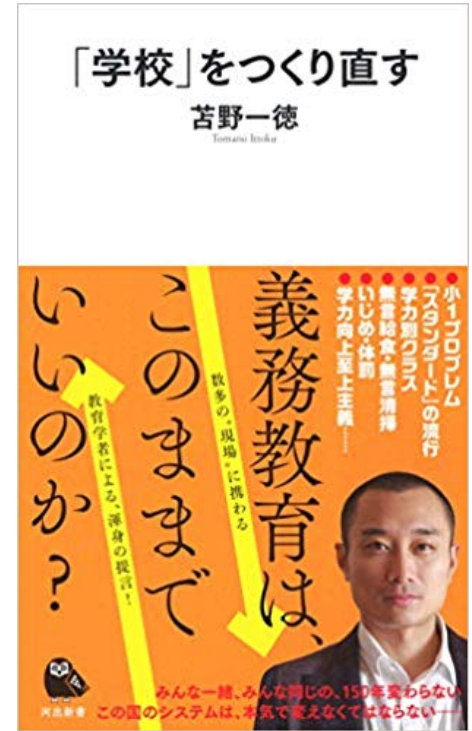
愛
苫野一徳





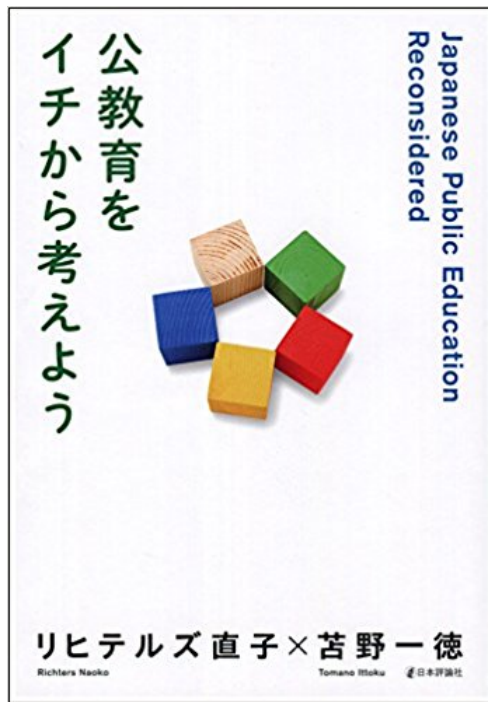
公教育の本質および「正当性」の原理の解明と、それに基づく実践理論の提示

- 経済産業省「産業構造審議会 教育イノベーション小委員会」委員
- 経済産業省「未来の教室」プロジェクト教育コーチ
- 文部科学省「教育・学びの未来を創造する教育長・校長プラットフォーム」アドバイザー
- 兵庫県尼崎市学びと育ち研究所アドバイザー
- 名古屋スクールイノベーションプロジェクト総合アドバイザー
- 熊本市教育委員
- 学校法人軽井沢風越学園共同発起人 etc.





幼・小・中「混在」校 軽井沢風越学園(2020年開校)



ポスト・
コロナシヨックの
学校で
教師が考えて
おきたいこと

東洋館出版社 編

赤坂真二
内田良
小川雅裕
加國希支男
川上康則
川越豊彦
喜名朝博
黒崎洋介
酒井朗
末富芳
副島賢和
田村学
津崎哲郎
土居正博
苫野一徳
中原淳
奈須正裕
萩原聡
初川久美子
放課後NPOアフタースクール

堀田龍也
前馬優策
山口晃弘
山中ともえ
渡邊正樹

東洋館出版社

緊急出版

学校再開に備えるための必須テーマに対し、研究者、NPO法人、管理職、教諭、専門職、教育の最前線を支える関係者から25の提言

学校は、
何を
する
ところか？

苫野一徳 × 菊池省三
Tomano Itoku × Shigeru Kikuchi

「ニッポンの教育」
変革の提言
根本から考えよう！

現実の子どもたちと
向かい合う
菊池省三 (教育実践研究者)

哲学から教育の
本質に迫る
苫野一徳 (教育哲学者)

中村堂

真正の
共生体育を
つくる

梅澤秋久 × 苫野一徳

体育に
〈自由の相互承認〉の
感性を！

大塚館書店

①公教育の哲学的本質の解明

- 公教育の本質解明のためのメタ方法論の解明・提示

→現象学＝欲望論的アプローチ

- 公教育の本質および正当性の原理の解明

→各人の〈自由〉および社会における〈自由の相互承認〉の実質化

→〈一般福祉〉の原理



②原理に基づく実践理論群の提示

(1)現代において〈自由〉に生きるための力は何か？

→探究する力／自由の相互承認の感度

(2)それはどうすれば育めるか？

→**学びの個別化・協同化・プロジェクト化の融合**

(3) 〈自由の相互承認〉の感度はどうすれば育めるか？

→絶対的な信頼と承認の場づくり／多様性がごちゃまぜのラーニングセンターに／自分たちの学校は自分たちでつくる(経産省&カタリバ「ルールメイキングプロジェクト」)

(4)〈一般福祉〉に適う教育行政はいかに可能か？

→行政による〈支援〉の仕組みづくり／均等配分から適正配分へ

教育の力
苦野一徳

すべての
子どもに
〈生きる力〉を



「学校」をつくり直す
苦野一徳
Tomonori Ikuno



〈自由〉と〈自由の相互承認〉の実質化 を本質とするはずの学校教育が・・・

- 不登校
- いじめ
- 体罰
- 小1プロブレム(と間違っって呼ばれている現象)
- 落ちこぼれ・吹きこぼれ
- 同調圧力
- 空気を読み合う人間関係
- コロナ

・・・etc.

150年間変わらない学校システム

みんなで同じことを、
同じペースで、
同じようなやり方で、
同質性の高い
学年学級制の中で、
出来合いの答えを
勉強する、
ベルトコンベヤー型の
システム



- 落ちこぼれ・吹きこぼれ問題
- いじめ、不登校、空気を読みあう人間関係の問題
- コロナによって、その脆弱性、不可能性も露呈



100年前の尋常小学校の復元
(トリップアドバイザーより)

「公教育の構造転換」へ！



学びの個別化・協同化・ プロジェクト化の融合

中教審答申（令和3年）

「令和の日本型学校教育」の構築を目指して
～全ての子供たちの可能性を引き出す、
個別最適な学びと、協働的な学びの実現～